

第三一二回俳都松山俳句ポスト

第三一二回開函

「渋柿」松山渋柿会長

戒能

多喜

選

特選三句

湯の町のレトロな駅舎小鳥来る

愛媛県松山市 八木 重明

古の偉人を偲ぶ秋伊予路

大分県中津市 橋本 千鶴子

錦秋のねんりんピックに挑む吾

京都府城陽市 武田 豊子

入選二十句

(市外)

小鳥来てからくり時計踊り出づ

石川県能美市 森田 かづみ

熱々のじやこ天を食む秋うらら

奈良県大和高田市 藤岡 美幸

ポシエツトに遺影しのばせ伊予の秋

岡山県岡山市 平尾 三枝子

秋晴や天守から見る瀬戸の海

滋賀県草津市 西山 里美

納経帳片手に秋の伊予路かな

静岡県静岡市 谷口 智恵子

秋の陽は軒深うせり仁王門

広島県三原市 末国 正志

石段を弾む木の実や虚子の句碑

愛媛県伊予市 重藤 民雄

ねんりんピックの汗を流すや道後の湯

新潟県妙高市 国見修二

十六夜やのぼさんの詠む湯釜の湯

東京都江戸川区 小野 廣彦

還暦の子とへんろ旅母米寿

奈良県奈良市 奥村 幸子

大火鉢据えて子規堂人気なし

神奈川県横浜市 岡崎 照美

秋うらら俳句ポストを車夫に問ひ

埼玉県上尾市 池田 昂平

昭和の日古き良き世の日々偲ぶ

愛媛県新居浜市 青山 京子

(市内)

古城の磴一段づつにある残暑

愛媛県松山市 渡部 美恵子

異国語の増ゆる城下や秋祭

愛媛県松山市 山下 幸子

蛸壺のきちりと積みれ島の秋

愛媛県松山市 林一孝

かくし事何も無いです大冬木

愛媛県松山市 越智紀子

千の手となりし古刹の石路の花

愛媛県松山市 岩崎久美

(十五歳以下)

すず虫やあたらしき夜耳すます

愛媛県松山市 三瀬桜子

まつぼつくりみずにつけたらしぼんだよ

愛媛県松山市 松下千鶴

伊予灘ものがたり賞

ねんねこや列車見送る小さな手

千葉県千葉市 亀井武

投句総数	一、八三九句
市外	一、四七一句
市内	三六八句
投句者総数	一、一五三人
市外	九五三人
市内	二〇〇人

開函日

令和五年十一月三十日